

GAH NEWS

RILAC

No.7

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

平成22年12月

荒川区自治総合研究所



写真：国際交流協会主催バスハイクでのひとこま

荒川区民総幸福度 (GAH) とは

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆さんの幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

第二版 好評発売中！

GAHに関する本、「あたたかい地域社会を築くための指標」（荒川区自治総合研究所編）第二版、全国の書店にて好評発売中です。



地域のつながり、本号では、幸福度との関係についてご紹介しています。

荒川区の「GAH」の向上の努力は、新たな都市社会形成への創造的試みである。 — 森田実 (政治評論家)

区民の誰もが幸福を感じられる「幸福実感都市」をめざす荒川区の取り組みを紹介する、時代を見据えた良書。

重版出来！ 八千代出版 定価700円 (本体667円)

地域とのつながりなどと幸福度との関係について

よくニュースなどで、「最近、近所付き合いが少なくなった」と耳にすることがあります。荒川区は比較的、隣近所の付き合いや助け合い、人とのつながりの強い地域と言われていますが、皆さんはどう感じられていますでしょうか？

当研究所では現在、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピーネス：GAH）の研究を進めていますが、実は近年、この地域とのつながりと幸福度との関係についての研究が多く行われています。例えば、アメリカのパットナムという学者は、適度な社会的つながりが人々の幸福感を高めることを示しています。

また、平成19年度版国民生活白書は、家族と一緒に過ごす時間が長い人、隣近所や仕事関係の人と行き来が多い人ほど生活満足度が高い傾向にあったと報告しています。

荒川区政世論調査の荒川区民総幸福度の質問の中で「地域とのつながり」について聞いたところ、例えば、ご近所の人とあいさつや話をしていると回答した人は約8割、住んでいる地域に愛着があると回答した人は約7割、い



素盞雄神社天王祭の様子

ざという時お住いの地域に頼れる人がいると回答した人は約5割となっています。これらの項目と幸福度の関係を分析したところ、いずれもあいさつや話をしている人、愛着がある人、頼れる人がいる人ほど幸福度が高い傾向にありました。

これらのことから、地域とのつながりや近所づきあいが増えることは人々の幸福度の向上にもつながると推測されます。荒川区自治総合研究所では、現在進めている荒川区民総幸福度の研究の中で、地域とのつながりや近所づきあいに関する指標についても検討していきたいと考えています。



編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等を毎月お届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。

GAH Gross
Arakawa
Happiness

編集発行 荒川区自治総合研究所

〒116-0002 東京都荒川区荒川2-11-1

TEL : 03-3802-4861 FAX : 03-3802-2592

URL : <http://www.rilac.or.jp/>

info@rilac.or.jp